



VERSANT

日経スコア活用 BOOK 簡易版

INDEX

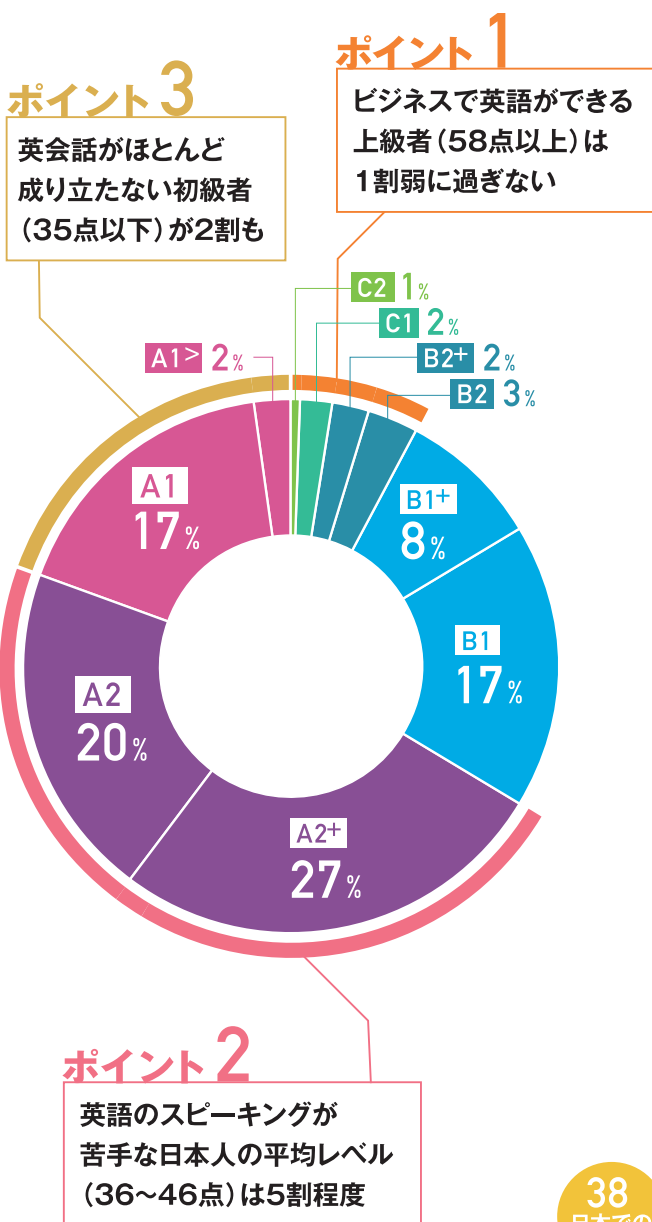
- 総合スコアの見方 ……英語スピーキングの実力が分かる
- スキル別スコアの見方 ……強みと弱みを詳細に把握できる

完全版では下記のコンテンツもご覧いただけます。

- TOEIC L&R とのスコア関係 ……スコア比較でより効果的な学習ができる
- スコア別 スキル向上のヒント ……「本当に話せる」英語の学習法
- (資料編) 総合スコアとシーン別英語の Can-Do リスト

VERSANT
総合スコア

CEFR



80

C2
79-80

微妙な意味合いを正確かつ自然に伝達できる。自由に、自然な口語体で自分の考えを詳細に説明できる。複雑な構文でも、適切に接続詞や結束装置を使用して、文法的、音韻的に幅広く一貫して対応できる。

75

C1
69-78

流暢で自由な表現を、適切な構文を使って明確に話すことができる。流暢に、自由に、ほとんど意識することなく、自然な言葉遣いで自分の考えを説明できる。正確で、間違いが少ない。接続詞や結束装置を的確に使用できる。

70

65

B2+
63-68

大きな負担を感じさせずに、情報や視点を明確に述べるができる。

60

B2
58-62

一定のテンポで一定量話することができる。発音やイントネーションを明確に発することができる。誤解を生むような間違いがない。明確で一貫した、意味のつながりがある会話ができるが、時々「抜け」が起こる。

55

B1+
53-57

身近な事柄において伝えたいことの要点を包括的に述べるができる。

50

B1
47-52

構文や語彙の選択、もしくは修正のために途切れることが多々あるが、おおむね包括的に話し続けることができる。時々外国語特有のなまりが出ることや発音のミスがあるが、発音は理解可能である。予想可能な状況では、主要な、使い慣れている語彙や構文をほとんどの正確さで使うことができる。

45

A2+
41-46

基本的な情報(仕事や経歴、家族、余暇など)について述べるができる。

40

A2
36-40

途中で途切れることや出だしの誤り、言い直しが多々あるが、非常に短い文章であれば自分の考えを述べるができる。発音は、外国語特有のなまりが目立つが、相手が無理なく理解できる程度には発音できる。単純な構造は正しく使えるものの、規則的に基本的な間違いをする。

35

30

A1
26-35

個人的なことや、よく知られたテーマについて簡単に述べるができる。

25

20

A1>
20-25

A1で定義されるよりも下位レベルである。直接かつゆっくり話されればいくつかの単語を理解できることがあり、基本的な挨拶ができることがある。一般的に語彙力が非常に限られている。

38
日本での
平均

※スコア比率は「2018年度 VERSANTレポート」より作成。約3500人の受験データを分析

CEFR

CEFRは「欧州言語共通参照枠」のことで、言語能力を評価する世界的な指標です。初心者のA1から、ネイティブレベルのC2まで分かれています。

GSE

グローバル・スケール・オブ・イングリッシュ(GSE)は、ピアソンが開発した世界初の「真にグローバルな英語力指標」です。GSEは学習者の「現在の英語力で何ができるのか」を明確に定義する尺度で、仕事で必要とされる英語力から、目指すスコアを逆引きすることができます。



英語スピーキングの 実力が分かる

総合スコアでは実践的な英語コミュニケーション力が詳細に分かります。ここではVERSANT総合スコアとCEFR、GSEを併記してそのスコアで何ができるかを具体的に記しています。

GSE 学習指標 (CAN-DOリスト)

▶ インタビュアーの一団からの質問に対し、言葉の複雑さや回答のスタイルを各インタビュアーに合わせてながら、答えることができる。(V79-G85)

▶ 公式のプレゼンテーションにおいて、聴衆から要請された場合、複雑な図表や視覚的情報を要約することができる。(V69-G76)

▶ プレゼンテーションにおいて、質疑応答時の質問に答えることができる。(V63-G67)

▶ 具体的な理由や詳細(プロジェクトの完了、期日など)を示しながら、ビジネスの状況についての懸念を表明できる。(V63-G66)

▶ 職業面接において、自分が過去の仕事で達成したことについて話すことができる。(V58-G58)

▶ 自分が働く部門や会社における様々な仕事を説明できる。(V55-G55)

▶ ビジネスの場で、簡単な語句を使用して、製品の特長について議論できる。(V51-G49)

▶ 簡単なビジネス取引において、基礎的な語句を使用して価格の変更を交渉できる。(V50-G47)

▶ 視覚的な助けを使用しながら、なじみのあるトピックについての短い話を行うことができる。(V48-G44)

▶ 簡単で明確で適切に表現された仕事に関する留守電のメッセージを残すことができる。(V46-G42)

▶ 日付、時刻、場所など、アポイントメントの詳細を復唱し、理解を確認できる。(V45-G41)

▶ 従業員に対し、自分の仕事で好きなことと嫌いなことを尋ねることができる。(V44-G40)

▶ 簡単なつなぎ語('then'、'next'など)を使用して、過去の非常に基礎的な出来事を説明できる。(V44-G38)

▶ 企業またはクライアントと初めて接触する際に使用される短い簡単な原稿を、読み上げることができる。(V42-G37)

▶ 簡単なやり方で、電話でくり返しや説明を求めることができる。(V40-G35)

▶ 簡単な語句を使用して、自分の故郷や住む街について説明できる。(V39-G33)

▶ 簡単な語句('first'、'second'、'third'など)を使用して、物事を順序立てることができる。(V39-G33)

▶ 地図や旅程表を示しながら、簡単な道案内を行うことができる。(V38-G32)

▶ 簡単な謝罪を行ったり、それを受け入れたりできる。(V38-G31)

▶ 簡単な語句を使用して、自分の趣味や取り組んでいる活動を説明できる。(V36-G30)

▶ 簡単な語句を使用して、ある個人の好きなものや嫌いなものを説明できる。(V34-G28)

▶ 基礎的な単語を使用して、一般的な天気の状態を説明できる。(V34-G28)

▶ いくつかの基礎的な定形表現を使用して、ホテルにチェックインできる。(V31-G26)

▶ 限られた言い方で、飲み物や食べ物を頼むことができる。(V29-G24)

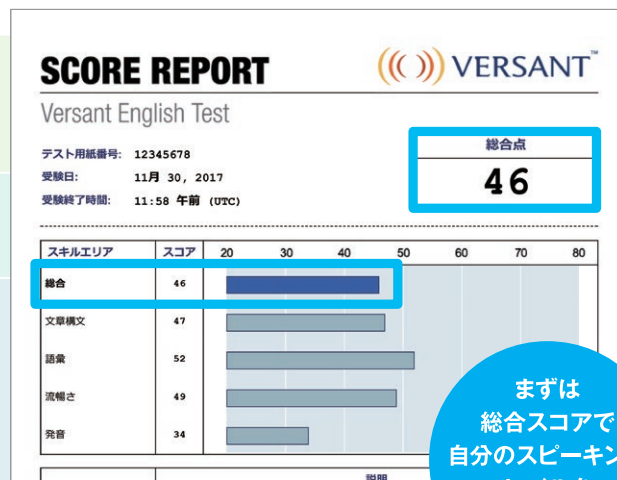
▶ 物の価格について、基礎的な情報を与えることができる。(V27-G24)

▶ 電話での短く簡単な会話から、相手の名前と電話番号を特定できる。(V27-G23)

▶ 他者に名前を尋ねることができる。

▶ 自分がしていること(仕事の名前、学生など)を言うことができる。

▶ 何かの価格を尋ねることができる。



まずは
総合スコアで
自分のスピーキング
レベルを
知りましょう。

SCORE REPORT		((()) VERSANT™					
Versant English Test							
テスト用紙番号:	12345678						総合点
受験日:	11月 30, 2017						46
受験終了時間:	11:58 午前 (UTC)						
スキルエリア	スコア	20	30	40	50	60	70
総合	46	[Progress bar]					
文章構文	47	[Progress bar]					
語彙	52	[Progress bar]					
流暢さ	49	[Progress bar]					
発音	34	[Progress bar]					

SCORE REPORTでは、4スキルごとにスコアを判定。総合スコアは、これらスキル別スコアの加重平均により導き出されます。

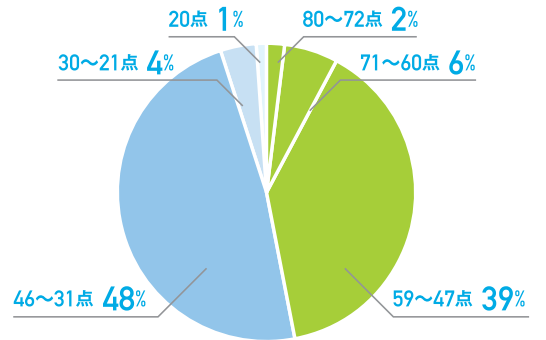


文章構文

「多くの語句やフレーズを使える」47点以上を目指そう

- 80~72点** 幅広い語句や文脈を理解、使用できる。正確で複雑な文を常に発言できる。
- 71~60点** 様々な語句や文節を理解して使える。概ね正確で意味のある文を話せる。
- 59~47点** 多くの語句や文節を理解して使える。様々な意味のある文を話せる。
- 46~31点** いくつかの語句や文脈を理解し、使える。意味の通った簡単な文を話せる。
- 30~21点** 簡単な語句や文でも英語で理解し発言することは難しい。
- 20点** 正解の回数が少ない。回答の声小ささい。

約半数が47点をクリア
文章構築力は高い

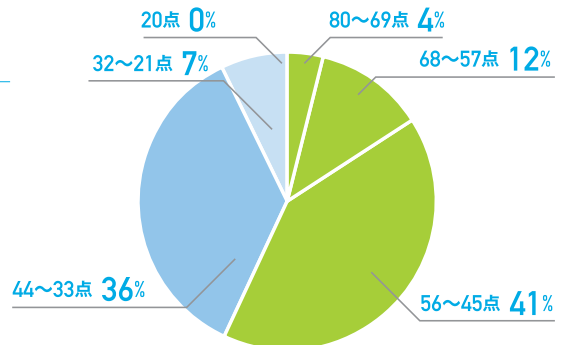


語彙

「日常会話で単語の大部分を理解できる」57点以上が理想的

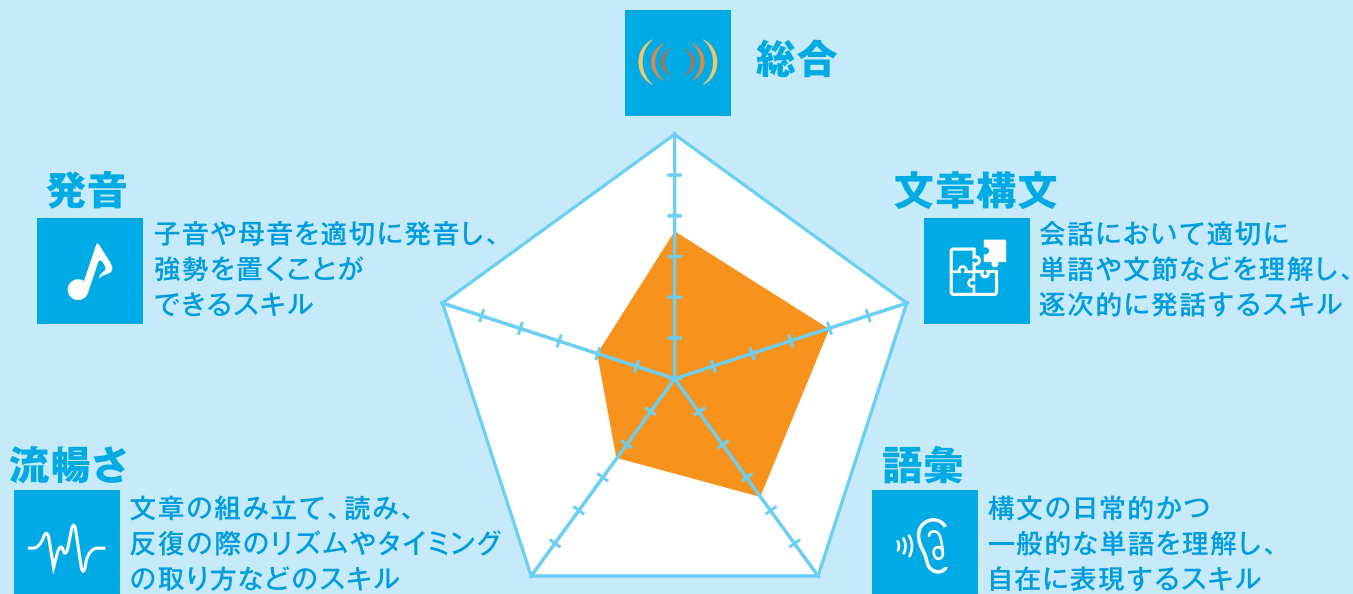
- 80~69点** 日常会話での単語を流暢かつ自然な口語体のなかで幅広く理解し、使える。
- 68~57点** 日常会話での単語の大部分を自然な口語体の中で理解し、使える。
- 56~45点** はっきりと話されれば、日常会話で使われる単語を理解し使える。
- 44~33点** 簡単ではっきり話されれば、限られた基礎的な英単語を理解できる。
- 32~21点** 非常に基本的な単語をゆっくりと話された場合でしか理解できない。
- 20点** 正解がほとんどない。回答の音が小さすぎる。

まず必要な45点以上は6割、
リスニング力は比較的高い



強みと弱みを 詳細に把握できる

VERSANTのスコアは内容(何を話したか)、話し方(どのように話したか)を評価して算出されます。内容は「語彙」と「文章構文」、話し方は「発音」と「流暢さ」に分類され、スキル別のスコアが分かります。

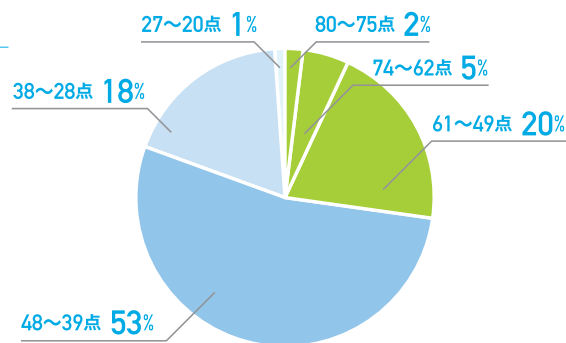


流暢さ

「ある程度リズムよく話せる」49点以上を目標に

- 80~75点** ネイティブのようなリズム、語句の切れ目、タイミングで話せる。
- 74~62点** 全体的にリズムよく話せる。語句の切れ目も適切。
- 61~49点** 語句の切れ目などが不適切なこともあるが、ある程度リズムよく話せる。
- 48~39点** 複数の単語をつなげられることもあるが、途切れ途切れに話す傾向にある。頻繁にポーズがあり、語句がつかまらない。
- 38~28点** 不適切な区切りやリズムが多く、言い淀みや言い誤りも目立つ。発言は途切れ途切れで、明らかに流暢ではない。
- 27~20点** ゆっくりと苦労しながら話す。躊躇や言い誤り、長いポーズが目立つ。単語単位で話すことが多く、単語や語句の自然な境目がない。

流暢さに欠ける48点以下が
全体の7割



発音

「発音は全体として明瞭」な48点以上を狙う

- 80~75点** 母音と子音の発音は明快で曖昧さが無い。
- 74~61点** 母音と子音の発音は明瞭。常用語の多くを正しく発音できる。
- 60~48点** 発音は全体として明瞭だが、外国語訛りが分かりにくいこともある。
- 47~38点** 一部の子音と母音の発音が不正確。外国語訛りに慣れないと分かりにくい。
- 37~25点** 多くの子音と母音が不正確。聞き手はかなりの部分を理解できない。
- 24~20点** 非英語的な発音発音が多い。聞き手は発言内容のほとんどを理解できない。

「分かりにくい」「理解されない」が
全体の8割
日本人最大の弱点

